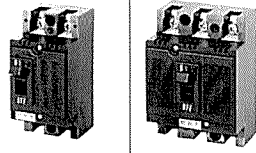
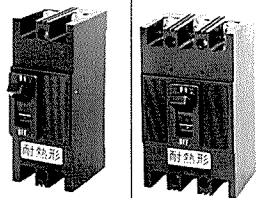
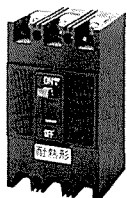


耐熱ブレーカシリーズ

極数(P)・素子数(E)・フレーム(A)			2P, 2E, 30A	3P, 3E, 30A	2P, 2E, 50A	3P, 3E, 50A	3P, 3E, 100A	3P, 225A
相線式			1φ2W	3φ3W	1φ2W	1φ3W, 3φ3W	1φ 3W, 3φ 3W	3φ3W
定格電圧(V)		A C	220		550		550	550
		D C			250		250	250
定格電流 (A)			●15, ●20, ●30		●15, ●20, ●30, ●50		◎60, ●75, ●100	●225
耐熱定格電流 (A)			10.5, 14, 21		10.5, 14, 21, 35		42, 52.5, 70	157.5
型 式			F B—32	F B—33	F B—52	F B—53	F B—103	F—223
詳細説明ページ			105		105		106	106
▶外観写真は、器種ごとの寸法の大小は考慮しておりません。								
定格しゃ断電流 (A)	A C	220V	2,500		5,000		10,000	
		460V			2,500		5,000	
		550V			1,500		2,500	
耐熱しゃ断電流 (A)	D C	250V			2,500		5,000	
		220V	2,500		5,000		10,000	
		460V			2,500		5,000	
	A C	550V			1,500		2,500	
		250V			2,500		5,000	
端子構造			線押え方式		線押え方式		ソルダーレス端子方式	バー端子方式
接続可能最大電線 (mm ²)			5.5		22		50	125
認定番号			CB—70001	CB—70002	CB—70003	CB—70004	C B—70005	K M—70005
重 量 (kg)			0.28	0.39	0.54	0.74	1.4	3.1
一 梱 入 数			1		1		1	1
定 価 (円)			6,100	10,000	12,150	16,100	39,550	75,000

〔注〕●印は受注品(納期2週間)、◎印は1〜3ヶ月です。

耐熱形ブレーカとは

デパート、ホテル、一般ビルなど多数の人が集まる場所で、万一火災が発生した場合には、消火設備、非常照明、非常用エレベータなどの初期消火活動、避難手段などが確実に作動することが必要です。このようなことから非常用電気回路に使用される機器類は火災時の異常温度に耐え得る耐熱性が要求されてきています。

消防庁告示第8号「非常電源専用受電設備の配電盤及び分電盤の基準」は、盤の断熱構造と使用機器の耐熱性について規定したもので、昭和50年8月1日より施行されています。

テンパル耐熱形ブレーカはこの基準に適合し「非常用配電盤等認定業務委員会」の認定品です。

〈耐熱性能〉

耐熱形ブレーカの耐熱性能は、JIS A 1304のⅡ火災温度曲線で30分加熱したときこれに耐えることが要求されています。

〈耐熱定格電流〉

負荷電流は耐熱定格電流以内でご使用下さい。

(耐熱通電電流とは、基準温度40℃において規定されている定格電流の70%電流)

テンパル耐熱ブレーカ

